

“鮮度一番！”

No.195

～女性と男性が支え合う社会をつくる～

CONTENTS

1 / ひとことコラム

1～3 / 運営委員会で話されたこと

3～4 / お知らせ 編集後記

・・・ひとことコラム・・・ 60の手習い？楽しんでま～す！

小出 和子

何にでも興味があって、何でもやりたがり屋の私にしては珍しく、長い間迷った末に60歳を過ぎてからやっとゴルフを始めました。道具の手配をしてくれて、半ば強制的に背中を押してくれた人がいたお蔭で、決断することができました。見るとやるとでは大違いで、レッスンを受けてからコースに出たけれど、大たたきの連続で同伴者にはいつも迷惑をかけていますが、どこのゴルフ場に行っても手入れが行き届いていて綺麗で、芝の上はフワフワして気持ちが良いので、他の人の倍は歩くけれど(実際には走り回っていますが・・・)私自身はとても楽しんでいます。

「同じお金を払って、皆よりいっぱい打って、いっぱい歩けるなんてお得じゃん！」なんて負け惜しみを言ったり、「もっと若い時から始めていたら、もっともっと上手くなっていたのになあ」などと思ったりしましたが、今となっては、健康でゴルフができる環境に感謝をしつつ、幸せを感じています。コンペに出ても上位を目指すのは無理なので、下位を目指せば(ブービー賞など)たいい豪華な景品が頂けるので、下手も悪くはないなと思っています。

これからも心と体の健康のために、無理をせずに楽しいゴルフをしていきたいと思います。どんな事でも、もし迷っている人がいたら、今すぐ始めたほうが良いですよ！

運営委員会で話し合われたこと

日 時 平成27年7月1日(水)(AM9:30～11:30)

場 所 男女共同参画センター(桜木町)

移転してから初めて男女共同参画センターを訪れた会員から漏れた言葉。「裏の駐車場から階段を上がる所に手すりがあったらな。センターに車椅子があったら、もっと気楽に活動できるのに・・・。」足の弱い人が、自信を失わず元気に出続けられる環境整備を望みます。

次回の運営委員会は、8月5日(水)9:30～男女共同参画センターです。どなたでもおいでください。

にいがた女と男フェスティバル 2015

講演会「女性が輝く社会…とは」

野崎ミチコ

6月28日(日)新潟ユニソンプラザで開かれた講演会に、母(83歳)と娘(29歳)と3人で参加した。講師の谷口真由美さん(大阪国際大学准教授 法学者)は、予想を裏切ることなくヒョウ柄のワンピースで登壇し、バリバリの大阪弁でみんなを笑わせつつ、ピシッと男女共同参画社会について語ってくれた。

2012年9月「おっさんの おっさんによる おっさんのための政治」に嫌気がさし、「全日本おばちゃん党」(政治団体ではなく女性市民団体)を立ち上げたこと。ちなみに「おっさん」の定義は、「上から目線」で「独善的」、「自分は正しい」と思い込み「おめでとう」「ありがとう」「ごめん」を言わない、ふところの狭い人のことだとか。「おっちゃん」とは区別され、「おっさん」の対義語は、「おばはん」(微妙な大阪弁ですね〜)それに対して「おばちゃん」は、世間では蔑称みたいに思われているが、それは「女は若くなければ値打ちがない」という既成概念が生んだもの。「おばちゃん」には、おせっかいやら、自分を下げても人をバカにしないとか、エエとこがいっぱいあると力説。(全く同感です!)

「全日本おばちゃん党」の目的は、「おばちゃん」全体の底上げをすること。排除されてきた「おばちゃん」が、「私」の言葉で話し出すと、これほど怖いものはない。「私が、いやだからいらない」と自分の言葉で責任をとり、誰かの為に若づくりをしない第二の女性解放運動でもある。

少子化が問題となっているが、電車や公共機関で、子どもを泣かせないようにどのくらい母親が小さくなって気を使っていることか。妊婦や子どもにやさしくない日本になっている。育児は、介護と違って一過性のもので、声を出しづらい環境があった。子育てを終えた「おばちゃん」も、困っている人たちに寄り添い、みんながパッピーになれるよう知恵を出し合いましょう。

男女共同参画社会とは、意思決定の場に男女がともに参画すること。しかし残念ながら、人口の半数を占める女性が、政治や経済の分野ではマイノリティーとなっている。この差別が解消されるまではポジティブ・アクションが、必要である。「女性が輝く社会」とは、「男性が、もっと輝く社会」であるのだから…と締めくくられた。

講演では、もっと多彩な話をされたのだが、私の出来る報告はここまで。ほんと、女性の私たちがマイノリティーって、男性ばかりの会議風景に違和感を覚えたのは、そういうことだったのかと納得した。(野崎)

【ポジティブ・アクション】社会的・構造的な差別によって不利益を被っている者に対して、一定の範囲で特別の機会を提供することなどにより、実質的な機会均等を実現することを目的として講じる暫定的な措置のこと。



2.

燕三条エフエム放送(ラヂオは〜と 76.8MHz)ワイワイ女性ひろば

●本放送 毎週金曜日 11:00~11:30 ●再放送 毎週水曜日 19:30~20:00

7月のテーマ「三条市の第2次男女共同参画推進プランができました」

- ①いっしょに！変わる、わたし+あなた。暮らしやすいまちに。
- ②男女共同参画は家庭から
- ③イキイキ・エイジング
- ④それぞれの生き方を目指そう
- ⑤次世代につなげたい

メンバー：捧 裕一郎（三条市市民部市民窓口課課長）
野崎ミチコ、田辺とも子

この度、三条市の今後8年間を見据えた、第2次男女共同参画推進プランができました。そこで、三条市の男女共同参画担当である市民窓口課課長の捧さんをゲストにお迎えし、プランについてお話いただきました。

捧さんとは、新潟県女性財団の運営委員時代、男女共同参画の学びを一緒にしてきた仲間でもあり、女性会議設立以来のメンバーです。男女平等の意識と実践は筋金入りであり、満を持してのご登場です。好きな家事は、アイロンがけ、風呂掃除、料理とおっしゃる捧さんのトークをお楽しみください。（田辺）

3.

“第34回高齢社会をよくする女性の会 全国大会 in 長岡”について

上記の大会が、9月26日（土）・27日（日）の2日間、シティホールプラザ アオーレ長岡をメイン会場に開かれます。

大会テーマは、「大介護時代を地域で生きる～安心と覚悟～」。1日目は、厚生労働事務次官 村木厚子さんによる記念講演「超高齢社会をどう生きる？」と、高齢社会をよくする女性の会理事長の樋口恵子さんを交えての鼎談、その後、河田珪子さん（うちの実家代表）ら5人によるシンポジウム「地域を支えるほら吹き大会」と、交流会が行われます。2日目は、「自分らしい旅立ち」「認知症とともに生きる」「女性が創る元気な地方」等6つの分科会が開かれます。お申込み・お問合せは、

JTB関東法人営業長岡支店 担当佐藤さん(TEL：0258-35-3315)まで。

当会からは、6名が申し込みましたが、当日の申込みは出来ませんので、ご注意ください。

【お知らせ】

◆大好評！！社会人のための表現力ワークショップ

「伝わる・揺さぶる！文章を書く」

日 時：2015年8月1日（土）10:00~16:00

会 場：新潟県女性センター女性団体交流室2

（新潟市中央区上所 2-2-2 新潟ユニゾンプラザ2階）

講 師：山田ズーニーさん（文章表現インストラクター）

参加費：5,000円(三条女性会議会員は、お二人まで3,000円)

申込・問合せ先：(公)新潟県女性財団 TEL025-285-6610

◆男女共同参画推進フォーラム

～一人ひとりの活躍が社会を創る～

日 時：2015年8月21日(金)
会 場：(独) 国立女性教育会館 (埼玉県比企郡嵐山町)
内 容：ワークショップ&シンポジウム
(北京世界女性会議一あの時、今、そしてこれから)
定 員：20人(申込順)
参加費：無料
申込期限：8月3日(月)～14日(金)
申込・問合せ先：三条市市民窓口課市民係 担当 笹川(TEL34-5511)

◆大好評につき今年も開催!

ロジカル コミュニケーション

(自分の考えを分かりやすく、説得力を持って説明すること)

日 時：2015年8月22日(土) 13:00～17:30
会 場：新潟県女性センター女性団体交流室2
(新潟市中央区上所 2-2-2 新潟ユニゾンプラザ2階)
講 師：照屋華子さん(コミュニケーション・スペシャリスト)
参加費：3,000円(三条女性会議会員は、割引あり)
申込・問合せ先：(公)新潟県女性財団 TEL025-285-6610

◆石けんを使うにいがたの会 設立25周年記念公開事業

生涯を通じた女性の健康と権利の支援
～あらゆる分野に女性の参画がカギ～

日 時：2015年8月26日(水) 13:30～15:30
会 場：万代市民会館4階大研修室(403/404)
内 容：講演会
講 師：戒能民江さん(お茶の水女子大学名誉教授・ジェンダー研究者)
参加費：500円(資料代)
申込・問合せ先：笠原美紀子 TEL090-2484-4181

編集後記：

七夕への雨乞いは届かなかったのかな・・・。
どうぞ静かな雨でありますように。
てんこもりの鮮度一番195号、どうぞ隅から
隅までお読みください。(原)



編集発行：三条女性会議・代表 野崎ミチコ

連絡先：三条市田島2丁目12-12 TEL 32-3667 FAX 32-3679

ホームページアドレス：<http://www.joseikaigi.net>